

2023年

戦争はごめん女性のつどい



岸田自公政権は、今、「安保3文書」の具体化を急激に進めています。奄美大島、宮古島、石垣島に自衛隊のミサイル部隊が配備されました。「ミサイル攻撃の拠点」は同時に相手からの「標的」となり戦場化すると懸念が高まっています。

そもそも政府の言う「中国の脅威」「台湾有事の危険」は本当なのでしょうか？軍備拡大でいのちと平和は守れるのでしょうか？

戦争はごめんです。戦争回避の道を考えていきましょう。

みなさま、お誘いあわせてご参加ください。



プロフィール

・布施祐仁(ふせ・ゆうじん)

1976年生まれ。

フリージャーナリスト。

20年以上、安全保障問題を中心に取材を続ける。

元『平和新聞』編集長。

著書に『自衛隊海外派遣 隠された「戦地」の現実』(集英社新書)、『日米同盟・最後のリスク なぜ米軍のミサイルが日本に配備されるのか』

(創元社)など。『ルポ・イチエフ 福島第一原発レベル7の現場』(岩波書店)で平和協

同ジャーナリスト基金賞大賞とJCJ賞を受賞。

・日時 **8月19日(土)** 14:00~16:00

・会場 新日本婦人の会中央本部 2階会議室
(文京区小石川5-10-20 地下鉄丸の内線茗荷谷駅・徒歩7分)

・講演 **「軍備拡大でいのちと平和はまもれるのか」**

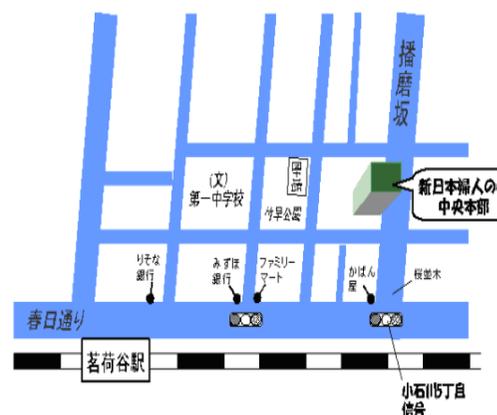
講師 布施祐仁さん

・申し込み 会場参加はFAXで(定員30名)締め切り8月15日
オンライン参加は下記メールで

e-mail: fudanren@cocoa.ocn.ne.jp

・参加費 1000円

新日本婦人の会中央本部 ☆案内図☆



主催 日本婦人団体連合会 Tel.03-3401-6147 Fax.03-5474-5585